

被爆 70 年の年に 抜けるような青空のもと 核兵器廃絶を訴え 今年も平和行進がやってきました

平和行進特集



馬入橋際で茅ヶ崎からの行進団と合流

今年が広島・長崎被爆 70 年になります。また、4 月から 5 年ぶりに国連で核不拡散条約 (NPT) 再検討会議が開催されている中での平和行進となりました。5 月 7 日に、ビキニ環礁の水爆実験で被爆した第 5 福竜丸が展示されている東京夢の島公園を出発した平和行進が平和な世界、核兵器廃絶を訴えて、平塚にやってきました。今年、県内すべての市区町村で平和行進が行われます。

16 日は茅ヶ崎からの行進団を出迎えに、馬入橋際まで駆けつけ、行進団と一緒に平塚市役所中央図書館前まで行進しました。図書館前では総務課職員が用意してくれた冷たい麦茶にほっとしました。

17 日は図書館前→大磯町役場→二宮町役場までの行進となります。出発集会には落合市長も参加し、核兵器廃絶宣言都市の市長として平和行進団歓迎と核兵器のない世界への取組の大切さの挨拶がありました。

日本共産党平塚市議会議員団は、渡辺敏光、松本敏子、高山和義の 3 名の議員全員で参加し、大磯までや二宮まで行進団と一緒に歩きました。



挨拶する落合市長と通し行進者(右側)と原爆被爆者の会のみなさん(左側)

安倍首相は集団的自衛権行使を閣議決定し、今年の夏までには関連法案の成立を目指そうとしています。国内各地から反対の声が上がっています。私たち議員団も地域の方たちと一緒に平塚駅頭で反対の宣伝行動を行いました。今年、戦後 70 周年の年であり、平塚市も核兵器廃絶宣言 30 周年の年です。「戦争法案 ノー」の声を大きく広げ、「二度と戦争する国」にさせないために、多くの市民の皆さんと一緒に取組を強めていきます。



旧国道東海道を通過する行進団



大磯町役場での到着集会



二宮町南口前に佇む「ガラスのうさぎ像」

ガラスのうさぎ像の由来
ガラスのうさぎの碑説明文より

太平洋戦争終結直前の昭和二十年八月五日 ここ(国鉄)二宮駅周辺は艦載機 P51 の機銃掃射を受け 幾人かの尊い生命がその犠牲となりました

この時 目の前で父を失った十二歳の少女が その悲しみを乗り越え けなげに生き抜く姿を描いた戦争体験記「ガラスのうさぎ」は 国民の心に深い感動を呼び起こし 戦争の悲惨さを強く印象づけました

この像は私たち二宮町民が 平和の尊さを後世に伝えるために また少女を優しく励ました人たちの友情をたたえるために 多くの方々のご協力をいただき 建てたものです 少女が胸に抱えているのは 父の形見となったガラスのうさぎです

ここに平和と友情よ永遠に

ガラスのうさぎ

一、わずかに十二のわたしには
友の情けが身に染みる
天に召されたお父さん
守ってくださいこの形見
ガラスのうさぎ 抱きしめる

二、帰るわたしに家もなく
可愛い妹とも母さんも
どこにいるやら焼野原
幸せだったあの頃の
ガラスのうさぎ 抱いて泣く

三、遠い悲しみ乗り越えて
幾年月は過ぎたけど
平和つづけと祈りこめ
二宮町の潮風に
ガラスのうさぎ 抱いて立つ

平山忠夫 作詞
木村弘清 作曲
伊藤辰雄 編曲

大磯町役場で昼食休憩を取った行進団は、二宮町役場に向けて元気に出発しました。

二宮町役場では、到着集会の後、村田邦子二宮町町長と添田孝司二宮町議会議員が「ガラスのうさぎ」を行進参加者と一緒に熱唱し、折鶴を行進団に託しました。



左から 2 人目村田町長、その右の男性添田議長